



ふれあい

平成29年9月 NO5
発行 門川町教育研究所
所長 新原とも子
TEL 63-1566
五十鈴小学校内(教育相談室)

二学期がスタートして2週間！～ここが見守り時です！

二学期が始まってはや2週間経ちました。子どもたちの夏休み気分は抜けたでしょうか？保護者の皆様にとっては長い夏休みが終り、ホッと一息つかれたのではないのでしょうか。夏休み中、町内では子どもたちの大きな事故や怪我がなかったようです。

学校では、運動会や体育大会の練習が始まったようです。グラウンドから毎日のように練習する元気な掛け声が聞こえて来ます。体調管理にも十分気を付けていただき、学校生活のリズムを早く取り戻すように見守っていきましょう。では、遅ればせながら、夏休みを少し振り返ってみましょう！

“かどがわ4か条”「その4 我が町の行事に進んで参加させます！」① ラジオ体操！

7/21の“門川町一斉ラジオ体操”ご参加ありがとうございました！



町内各小学校区で開催された「門川町一斉ラジオ体操」。好天に恵まれ多くの町民の皆さんに参加していただきました。町の「広報かどがわ」をみますと今年は4つの小学校で合計約1700人の参加があったそうです。町の人口は約17850人ですから、実に9%の町民が参加したことになります。写真は門川小学校の様子ですが、高齢者の方から小中学生、幼児まで、昨年をはるかに上回る人が参加していました。来年は町民の10%越えの参加を目指しましょう！ところで、門川中の生徒の皆さんは一斉ラジオ体操で手本になれるよう、生徒会が中心となって1学期中、昼休み等を使い繰り返しラジオ体操の練習をしたそうです。何だか、爽やかな気持ちになり「今の若者も捨てたもんじゃない！」と感じました。感謝！

“かどがわ4か条”「その4 我が町の行事に進んで参加させます！」② みなとフェスティバル！

夏の風物詩と言えば、花火！



“夏の風物詩”と言えば、やはり納涼花火大会でしょう。門川町の花火大会も恒例行事になりましたが、今年も天気に恵まれ、尾末湾に打ち上げられた4000発の花火を堪能することができました。

昼間は「みなとフェスティバル」が門川漁港で開催され、開会式のあと、餅まきやカラオケ大会、乙島遊覧など、様々な催しが行われ、少々蒸し暑い日でしたが、町内の小・中学生をはじめ、たくさんの方が会場につめかけていました。町内の小中学校は前日が2学期始業日でしたが、多くの小・中学生が来場し楽しい時間を過ごしていたようです。

“第50回東臼杵郡健康教育大会・門川町教育講演会”が開催されました！



開会行事の様子



西郷中 黒住文香 養護教諭の研究発表



これは、豚一頭分の表皮です。

食べることは生きること



会場いっぱいの参加者

今年度の門川町教育講演会は、8月1日に町総合文化会館で第50回東臼杵郡健康教育大会と抱き合わせの形で行われました。門川町はじめ、椎葉村、諸塚村、美郷町の教職員、PTA関係、教育関係、学校保健関係の方々がたくさん参加してくれました。研究発表では西郷中の黒住養護教諭が、「色覚検査・性に関する系統的な指導の実際」と題して美郷町統一の取組について発表されました。大変参考になる発表でした。

休憩後、講演の部に移り、南日本ハム（株）食育・広報担当の難波裕扶子氏が「食べることは生きること」～食を通して結ばれること～と題して、90分の講話がありました。会社の紹介に始まり、会社の教育支援活動について説明された後、牛や豚などから食品や飼料を作るまでの製造工程にからめて、人と家畜とのつながりや製造に携わる会社の人の思いなどを食育の立場から話をされ、参加した皆さんは90分という時間が充実したものになったようです。

本の一節！
心に残った

「気付き」をくれるコトバ～ ①「出会いは奇跡」

① 先生が卒業式のときに下さったことばです。人口70億人、出会う確率は70億分の1。それを思うとこのまま別れるのは損です。人とのつながりの大切さを教えていただきました。

「気付き」をくれるコトバ～ ②「良き師に出会い、良き友に出会い、良き書に出会え」

② 中学卒業のときに頂いた言葉です。希望する高校を経済的な理由で断念した私に、この3つに出会えたら、高校生活は楽しいものになると励ましてくれました。

〔出典：TOKYO FM 発行「ありがとう、先生！」より〕



子どもの教育や子育てで、悩んでいませんか？

困った時には、教育相談室に気軽に電話をしてください。

相談電話（門川町教育相談室）
Tel・Fax 63-1566

～～～返信欄（教育研究所便り「ふれあい」へのご意見やご感想をお聞かせください。）～～～

